令和２年度　臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：薬剤部
第３期中期目標･中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。（塗りつぶし可） □１．口腔領域における新規組織再生・再建法の開発 □２．高齢者の特性に配慮した口腔疾患の予防法・診断法・治療法の開発 □３．顎口腔機能の維持増進に関する研究 □４．歯科医学臨床教育の質保証に関する研究 ■５．その他
研究期間：西暦 2019 年 1 月 25 日～　西暦 2023 年 12 月 31 日
研究課題名：薬薬連携を活用した、抗がん剤における皮膚障害マネージメント
研究課題の概要及び成果： 経口抗がん剤の治療を行う患者において病院薬剤師が関与する場面は少なく、薬剤師外来を行っている施設でも一部の患者に限られている場合が多い。そこで本研究では、保険薬局薬剤師と病院薬剤師の連携における患者に対するメリットを、皮膚障害に焦点を当てて評価する。患者が受診後に保険薬局で薬を受け取る際、皮膚ケアの指導・皮膚障害のアセスメントおよび処方提案を、筆者が作成したプログラムに従って保険薬局の薬剤師が行うことで、皮膚障害の予防および治療に介入し、皮膚障害の発症率・重症度の軽減・QOL の向上・治療効果の向上を図る。薬剤師会および病院個別に参加を募り、協力が得られた複数の地域におけるデータを集積し、当プログラムおよび保険薬局薬剤師と病院薬剤師の取り組みの有効性を評価する。 先行研究として単施設の結果が本年度論文として出版された。本研究は先行研究の手法に基づく多施設共同の前向き研究であり、がん診療を行う病院および市の薬剤師会の協力のもと研究が行われ、当院が研究代表施設となっている。現在、公立学校共済組合近畿中央病院、市立芦屋病院、名古屋市立西部医療センター、西宮市立中央病院と契約を交わし、症例集積中である。
上記概要・成果に関連する図表等
当該臨床研究が「口の難病プロジェクト」に関連しているか否か下記のＢＯＸのいずれかにチェックを付してください。（塗りつぶし可） □　関連がある ■　関連はない